

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	消防本部	
	21001	消防指令業務共同運用調査事業	課名	消防総務課 総務・消防団G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	06:安全・安心なまちづくりの推進		款	09:消防費
	施策の方向	05:消防力の充実強化		項	01:消防費
戦略プロジェクト	-	目		03:消防施設費	
事業予定期間	R 3 ~ R 3 年度	主な根拠法令要綱等	市町村の消防の連携・協力に関する基本指針、三重県消防広域化及び連携・協力に関する推進計画		

② 目的・概要	対象	市民
	目的	市の人的・財政的資源に限られる一方で、昨今の 救急需要の高まりや複雑・多様化する災害に対しては迅速で効果的な対応が必要であり、更には大規模災害時においては、近隣消防機関との連携など市域を超えた広域的な災害対応が求められている。このことから、消防指令業務の津市及び鈴鹿市との共同運用の基礎調査を行い、効率的な人員運用をはじめ、消防指令センターの整備・維持管理費の低減化や広域的な災害対応について検討する。
概要	津市及び鈴鹿市と、共同運用に係る課題、システムの機能、より精度の高い概算費用、消防共同指令センターの運用時に必要な具体的な機能等について調査し、共同運用に向けた検討を進める。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
③ 事業の計画・実績	年度計画			○津・鈴鹿・亀山消防連携・協力検討会 ○消防指令業務共同運用に係る基礎調査
	年度実績			○津・鈴鹿・亀山消防連携・協力検討会 3回開催 ○消防指令業務共同運用に係る基礎調査 調査完了
事業の計画・実績	計画額	事業費		1,900千円
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債		
		その他		
	一般財源		1,900千円	
	予算額	事業費		421千円
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債		
その他				
一般財源		421千円		
決算額	事業費 ①		420千円	
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
一般財源		420千円		
人件費	総人件費 ②		1,027千円	
	一般職員		1,027千円	
	所要人員		0.13	
	会計年度任用職員等		0千円	
総コスト(①+②)				1,447千円
受益者負担率				0.0%

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称	津・鈴鹿・亀山消防連携・協力検討会の設置	計画値		設置
				実績値		設置
				単位		
	②	名称	津・鈴鹿・亀山消防連携・協力検討会の開催	計画値		3
				実績値		3
				単位		回
	③	名称	消防指令業務共同運用に係る基礎調査の進捗	計画値		調査完了
				実績値		調査完了
				単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 津・鈴鹿・亀山消防連携・協力検討会において、3市の共同事業である消防指令業務共同運用に係る基礎調査を通じて、共同運用に向けた諸課題の整理をはじめ、新システムの機能の検討、整備場所の比較検討、必要経費の試算等の詳細な検討を進めた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 共同運用によってもたらされる人員効果、整備費用の効果が確認できたほか、広域災害や市境界線付近での災害への対応能力の強化について検討を進めた。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 これまでの検討結果を踏まえ、今後、実務レベルの協議を進める必要がある。	次期実施計画への方向性 <input type="checkbox"/> 継続（拡大） <input type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 継続（縮小） <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】 法定協議会を設置し、新たな事業として取り組む。
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 共同運用への取組みが円滑に進められるよう、3市で連携・協力実施計画を策定するとともに、法定協議会を設置し、協議を進める。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 円滑に取組みを進め共同運用を実現することで、広域的な災害対応の強化が図れる。	
	対応時期	令和4年度以降	

【1次評価者】	消防本部 消防総務課 総務・消防団グループリーダー 草川 隆
【最終評価者】	消防本部 消防総務課長 豊田 賢治

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	/	/	/	/	A
	成果	/	/	/	/	A

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		421 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	421 千円
	令和4年度への繰越額	千円